

## 一方的休日出勤反対！ シリーズ③

# 臨のピークが過ぎたのに、 休日出勤が発生するからくり！

新幹線運輸職場では、10月から一方的休日出勤が発生しています。会社は「好調なご利用状況で、臨時列車の増発」という言い訳ならざる言い訳をしています。

8月の1日当たりの運転本数は、平均400本、ピークの10日では434本でした。それでも8月には休日出勤がありません。運転本数が減ったのに10月以降なぜ休日出勤が発生したのでしょうか？

### 新幹線1日の平均運転本数

9月 374本

10月 376本

11月 389本

※運転本数はほぼ横ばい

### 1ヶ月の年休の発給総数

東二運 330日

大二運 239日

(休日出勤無し)

東二運 930日

大二運 524日

(休日出勤有り)

東二運 722日

大二運 1,018日

(休日出勤有り)

東二運：東京第二運輸所 大二運：大阪第二運輸所

見ての通り、休日出勤が発生した10月から、年休の発給数が飛躍的に増加しています。これは、年休を出すために休日出勤をやらせているいえます。しかし、会社は業務委員会で、年休を発給するための休日出勤ではない旨を主張しているのです。

**「年休を消化できる要員は配置している」との会社の主張は、破綻している！  
会社は一方的休日出勤を解消し、年休を完全消化できる要員を確保せよ！**